

特許紹介

第 29 卷 第 8 號 昭和 18 年 5 月

硬水軟化劑製造方法

(特許第 155475 號 發明者 大田幸夫)
(特許権者 大田幸夫)

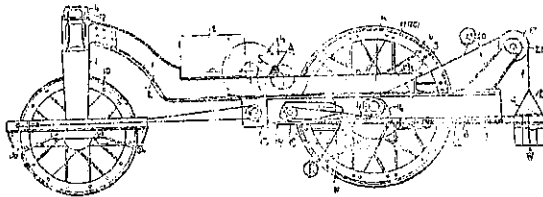
人造ゼオライト製造に際しドイツ式篩目 40 メッシュ篩を通過する細粒子を副生するが、之は其儘では硬水の軟化能力は大でも浮遊流出する缺點がある爲従来廢棄せられてゐた。本件は、之を利用したもので、即ち細粒子を人造樹脂又は動植物性蛋白質と練り固めて塊状又は粒状とし、水中に放置しても腐敗する事なき可塑物とする方法である。

路面輾壓機

(特許第 155508 號 發明者 鳥居政平・小川寅吉)
(特許権者 日本機器製造株式會社)

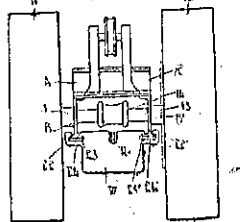
重錘を利用しその積架量により輾壓車輪に加へる荷重を増大し、又重錘の位置により荷重負荷を變化するやうにしたものである。圖-1 に就き之を説明すれば、車臺枠 (A) は前部臺枠 (1) 中部臺枠 (2) 及後部臺枠 (3) で結合構成したもので、後車輪の車軸 (13) には捲取胴

圖-1. 側面圖



(14) を装備し之に牽引綱 (R) の 1 端を結着け、他方を轉子 (15) を介し重量 (W) の 1 端に裝備せる轉子 (16) を通し末端 (17) を止鉤 (18) に掛止させる。(R') は牽引綱を示す。

圖-2. 端面圖



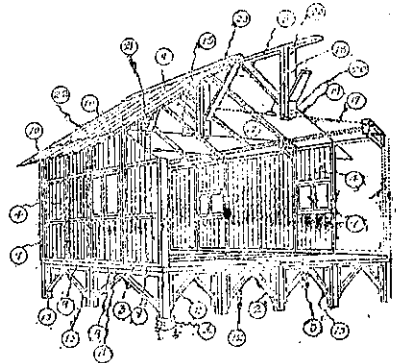
重垂 (W) を車臺に掛合装着させるには、先づ牽引綱 (R') の下端 (25) を重錘の上端に掛合し捲取器 (14) を廻轉し之を圖-1 に示す位置迄牽揚げ、牽引綱 (R) を重錘 (W) 止鉤 (18) 轉子 (16)、(15) を介して捲取機 (14) に連結し、之を廻轉して圖-1 點線に示す如き所望位置迄捲取らしめるのである (圖-1, 2)。

可攜式組立家屋

(特許第 155598 號 發明者 酒井 勉)
(特許権者 酒井 勉)

結構組立共に容易で解體積重して極めて小容積となるやう考案設計したもので、腰架構 (2) 及小屋架構 (5) は共に多数のコ形單體を以て構成し、腰架構はコ形單體を格子状に連繫して其の上面に床板及周壁を設ける。

圖-3.



コ形の小屋架構單體は周壁の縦中心線上に直列に連繫し相對する壁間には前記小屋架構の接合部を貫ける索棒 (17) を横設して兩壁を支持緊締させたものである (圖-3)。

硬水軟化劑の製法

(特許第 155698 號 發明者 山田 隆・北川敏夫)
(特許権者 日本藥物染色工業組合聯合會)

従来知られてゐる 磷酸鹽の硬水軟化劑に比し反應迅速で而も少量で効果を發揮すべきものを目的としたものである。メタ磷酸ソーダに對し其略 1/5 に相當するピロ磷酸ソーダを混合して加熱熔融させた後急冷すれば、本硬水劑が得られる。

中空繼手に依る木造アーチ網目型建物構築法

(特許第 155712 號 發明者 中塚 登)
(特許権者 慶應大學)

3 本以上の木材を一一點に於て簡単に接合する事に依り單一短小材のみを以て大張間建築物を迅速強固に組立て且其の解體をも容易ならしめんとするものである。之を圖面に就き説明すれば、中空接手 (圖-4) の外周面に所要数の木材の端部を偏心なく集合させる (圖-5)。各木材端の中心部に取付けた繫杆 (5) を中空繼手の穿

圖-4.

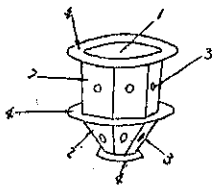


圖-5.

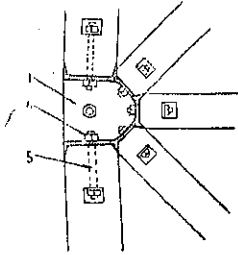
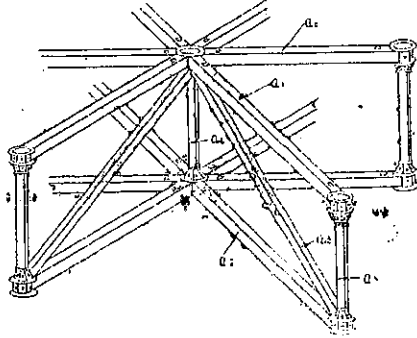


圖-6.



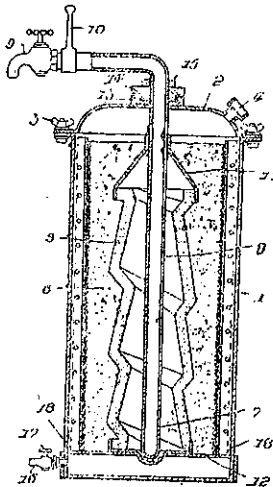
孔 (3) に挿通し、其継手の内部に於て之を繋結するのである (圖-6)。

濾過装置

(特許第 158756 號 發明者 (特許権者) 深谷俊次郎)

外部に螺旋狀の凹凸面を有する多孔質の陶器製中空濾過體 (5) を砂其他高度の硬度を有する粒狀濾材を充填した液槽内に廻動自在に取付けたもので (圖-7) 濾過體を廻動するだけで濾過體と粒狀濾材の双方を同時に洗滌且研削させ隨時濾過面の更新させる事が出来る。

圖-7.

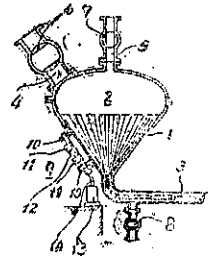


コンクリート送給装置

(特許第 155768 號 發明者 (特許権者) 堤 龍吉)

半流動狀、軟練コンクリート送給用の装置に僅かの改良變更を施して、從來困難視された硬練コンクリートの送給を容易ならしむるやう考案したものである。即ち壓力流體を密閉室 (2) 内に供給し其室の底部に連通せる輸送管 (3) を經て室内のコンクリート (1) を送給するやうにした装置 (圖-8) に於て、コンクリートを受ける部分に振幅小なる高周波振動を附すべき振動發生機 (9) を取付けるもので、その操作方法としては、瓣 (6) を開いて室内にコンクリートを送給集積させ振動發生機を働かして中のコンクリートを一體的に集結させ、次に瓣 (6) を閉じ瓣 (7) を開き壓氣を供給してコンクリートを送給するのである。斯くすればコンクリートは緻密となる爲に從來の如く硬練コンクリート間の間隙より壓氣が漏洩して送給を困難ならしめるやうな事は防止し得る。

圖-8.

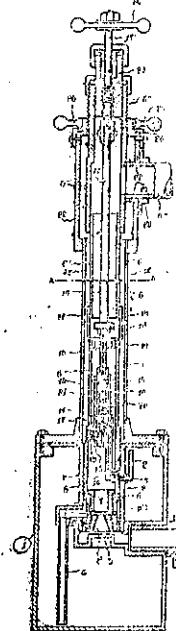


不凍水道栓装置

(特許第 155812 號 發明者 (特許権者) 吉谷秀太)

地中深所に止水するやうにし、凍結し易い上下動管 (6) 内の水を地中深所に在る貯水面 (1) 内に流入させて置いて嚴寒時に於ても不凍ならしめ、出水の場合は其の貯水を水道の水壓を利用して吸出し、貯水面内に長時間沈滞して不潔となる事なからしめるやうに設計したものである (圖-9)。

圖-9.



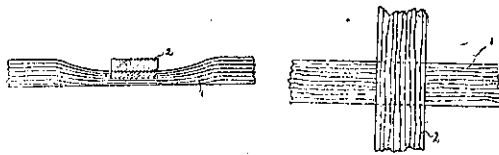
木材の嵌合法

(特許第 168169 號 發明者)
(特許権者) 千葉四郎

普通木材を嵌合させるには 其嵌合部に 於て互に 切缺するが、然る時は強度を減退する缺點があり、兩木材が厚さ小なる場合には適用できない。此の發明は、嵌合すべき兩木材に於て 其兩材又は一材を 適當幅及深さに 壓縮し再び膨脹しないやうに 纖維組織の密度を 増加して 其一面に凹溝を 形成させ該部に 於て兩材を 嵌合させる 事により、敍上の缺點を 除去すると共に 嵌合部の厚さを 各木材の厚さの 總和以下たらしめて 嵌合部の一面を 簡單に同一平面ならしめたものである (圖-10, 11)。

圖-10.

圖-11.



木材の補強法

(特許第 156160 號 發明者)
(特許権者) 千葉四郎

構材の各部荷重の大小に應じ局部的に強度を増大し加之抵抗の増加及容積の増大を來たさないやうに考案したもので即ち荷重の分布に従ひ局部的に木炭材を 重疊し (圖-12)、之を 壓搾膠着させる

圖-12.

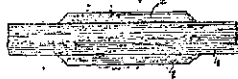


圖-13



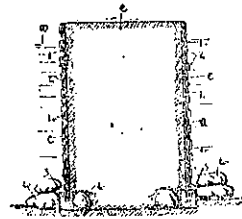
のである (圖-13)。

築島方法

(特許第 150194 號 發明者)
(特許権者) 木村又左衛門

土留壁筒をして 重量軽く且設置容易なるやう 築島を 築造せんとするもので、竹又は木材を以て 縦横に編成した筒形籠の内面に布又は 蓆製裏材を 張着し、下端部にコ

圖-14.



ンクリート環體を 固結した 土留壁筒を 其頂部を 水面に 現はすやう 水中に 樹立し、其の 内部に 土砂を 詰込むのである (圖-14)、之に 依れば、自由に 編み足し 其の高さを 増加し得るが 故に 水中作業を 伴はずに 作製し得る 利點がある。